

“ニュースパーク”

● 高 橋 六 二

いつだったか、横浜に新聞の博物館があることを知った。えっ、なぜ横浜に？ というのがその時の気分だった。

1月のある日、久しぶりに横浜へ行く用事ができたので、ついでに探してみることにした。

横浜スタジアムを過ぎて日本大通りを行くと、横浜情報文化センターがあってその中に日本新聞博物館（愛称：ニュースパーク）があった。

これは日本新聞協会が設立した日本新聞教育文化財団により、平成12（2000）年10月に創設、運営されているという。横浜に設けられたのは、ここが日刊新聞発祥の地だからだそう。すなわち明治3年12月8日（新暦1871年1月28日）、「横浜毎日新聞」が日本初の日刊新聞として発行された、その

ことにちなむものだというのである。初めて気づいた歴史である。

1階ホールに入ると、2階にまで及ぶ高さの輪転機が置いてある。その重厚さに見とれながら、脇のエスカレーターで2階に上がる。ここが入口。指示に従って5階の「現代ゾーン（常設展示）」から見る。ここでは新聞社と通信社の部局ごとの活動内容が展示されている。そこからは3階の「歴史ゾーン（常設展示）」に行くようになっている。ここは江戸から現代までの新聞の歩みが多様な資料を使って解説されている。興味深く懐かしいものがいっぱいあった。

そしてふたたび2階へ。企画展示室では「2007年報道写真展」の開催中だったが、閉館時間が迫っていたのでちょっとのぞくだけに

した。4階の「新聞ライブラリー」は次回まわしにせざるをえなかった。

ミュージアムショップで買った「新聞のあゆみ—明治から現代まで—」「明治のメディア師たち—錦絵新聞の世界」はなかなか見ごたえのある図録だ。

新聞はまさにコミュニケーション文化の最たるひとつと言ってよい。この世界をどうとらえか、われわれに託された課題は大きい。

外に出てみたら、中華街にはいるにはちょうどよい風情となっていた。